



2024年度 補助事業評価について

公益財団法人JKA



目的



JK A補助事業の評価の目的（補助事業評価事務手続要領・抜粋）

JK A補助事業の評価は、個々の補助事業者が補助方針に沿って行う事業や活動に対して、その補助事業の内容の結果・成果を検証し、補助事業の改善と発展を目指します。また、評価結果をとりまとめて公表することにより、社会的な説明責任を果たす一助とします。

2024年度補助方針

1. 公示日 2. 要望受付期間

1. 公示日

2023年7月1日(金)

2. 要望受付期間

(1) 下記(2)(3)(4)を除くすべての補助事業

2023年7月3日(月)～9月22日(金)15時

(2) 福祉機器、検診車・診療車等、福祉車両・就労支援車両の整備

2023年7月3日(月)～12月1日(金)15時

(3) 公設工業試験研究所等及び研究補助

2023年10月12日(木)～11月17日(金)15時

(4) 緊急的な対応を必要とする事業への支援

通年

3. 2024年度補助方針の変更点

[機械・公益 共通]

- ・募集期間の拡大

福祉機器、検診車等、福祉車両の整備、就労支援車両の整備 2023年7月3日～12月1日(通常募集 2023年7月3日～9月22日)

- ・補助の対象外となる者を明記

自らのホームページ(SNSは除く)で活動状況等を持続的に情報発信していない者

- ・上限額を示す「基準単価」「事業費総額」表記を原則「補助金上限額」へ統一

- ・新型コロナ関連の項目を削除

- ・「年度内要望」を「緊急的な対応を必要とする事業」へ文言変更し、別添5に集約

[公益事業振興補助事業]

- ・「自転車・モーターサイクルスポーツ(障がい者スポーツを含む)」の施設の建築を15,000万円から18,000万円へ引き上げ

- ・「自転車・モーターサイクルスポーツ(障がい者スポーツを含む)」の施設の補修を5,000万円から8,000万円へ引き上げ

- ・「社会環境」の施設の建築を10,000万円から12,000万円へ引き上げ

- ・「社会環境」の施設の補修を5,000万円から6,000万円へ引き上げ

- ・「医療・公衆衛生」に「検診車機器載せ替え」「診療車等の整備」を追加

- ・「新世紀未来創造プロジェクト」に「義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校」を追加

4. 事業の要望・採択状況(機械)

2024年度機械振興補助事業

(単位:千円)

事業 区分	対象事業	要望		採択	
		件数	金額	件数	金額
振興 事業 補助	自転車競技に関する機材の開発・改良・調査・研究	5	296,765	4	221,993
	自転車・モーターサイクル(社会づくり、安全・安心)	1	10,711	1	10,711
	自転車・モーターサイクル(IOT化の促進)	1	11,628	0	0
	障がい者スポーツ	0	0	0	0
	安全・安心、生活の質の向上	8	147,694	6	114,118
	防災・減災に資する取組み	0	0	0	0
	福祉機器の振興	1	20,795	0	0
	福祉機器の整備	884	4,514,813	251	1,297,436
	国際競争力強化に資する標準化の推進	13	106,185	10	66,132
	ものづくり支援	12	49,694	8	31,761
	地域の機械産業の振興	1	9,671	1	9,671
	省エネルギー等の環境	3	7,004	2	6,003
	医療機器の振興	0	0	0	0
	医療機器の整備	4	59,372	4	51,872
	2025年日本国際博覧会	3	320,000	3	320,000

4. 事業の要望・採択状況(機械)



2024年度機械振興補助事業

(単位:千円)

事業 区分	対象事業	要望		採択	
		件数	金額	件数	金額
公設工業試験研究所等	機械設備拡充	53	1,449,190	53	1,305,433
	人材育成等	2	5,984	2	5,984
	共同研究	8	20,686	8	20,686
研究補助	個別研究	151	733,923	101	502,238
	若手研究	43	85,363	34	67,627
	開発研究	36	501,952	21	308,050
	ステップアップ研究	14	140,000	9	90,000
	複数年研究	105	1,016,350	69	686,270
合計		1,348	9,507,780	587	5,115,985

4. 事業の要望・採択状況(公益)

2024年度公益事業振興補助事業

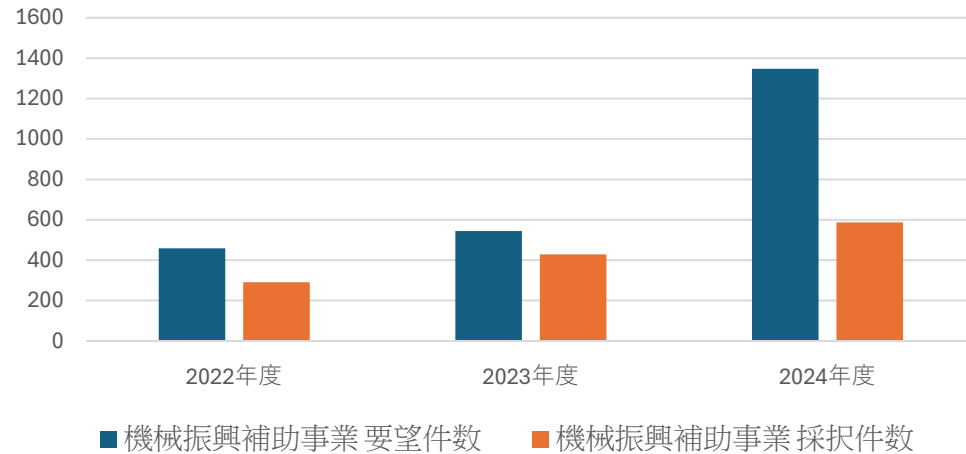
(単位: 千円)

区分	対象事業	要望		採択	
		件数	金額	件数	金額
公益の増進	自転車(競技力向上等)	2	223,299	2	220,329
	自転車・モーターサイクル	61	1,180,976	45	807,937
	スポーツ・パラスポーツ	23	443,740	19	292,041
	社会環境	9	211,245	9	211,245
	国際交流	5	59,277	4	55,257
	医療・公衆衛生	106	2,575,841	55	1,155,436
	文教・社会環境	19	194,852	18	181,760
	新世紀未来創造プロジェクト	23	22,346	14	13,902
社会福祉の増進	児童	11	97,625	8	52,419
	高齢者	0	0	0	0
	障がい者	35	1,075,773	21	375,299
	地域共生型社会支援事業	9	77,596	6	33,900
	幸せに暮らせる社会を創るための活動や車両・機器等の整備	377	1,208,030	211	529,635
復興支援事業		7	20,303	4	11,601
研究補助		25	65,950	9	25,074
緊急的な対応を必要とする事業		8	58,428	8	58,416
合計		720	7,515,281	433	4,024,251

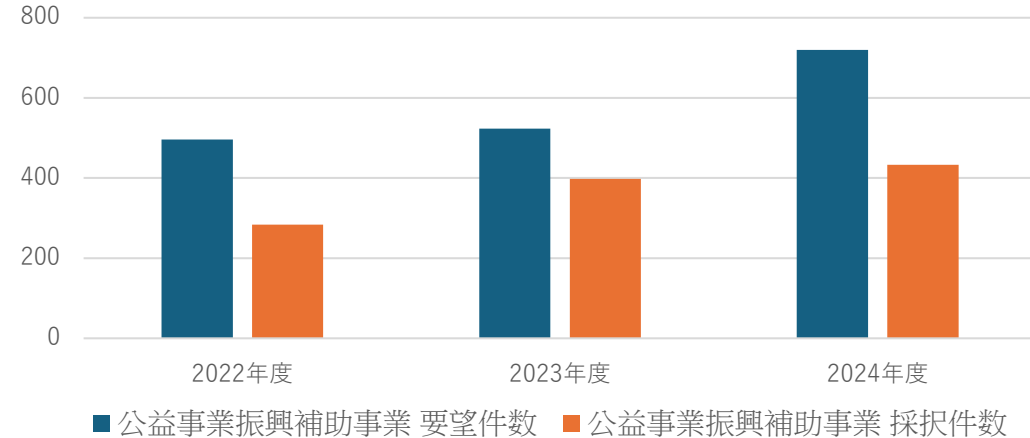
5. 要望件数・採択件数 推移(2022年度～2024年度)

2025/9/30現在

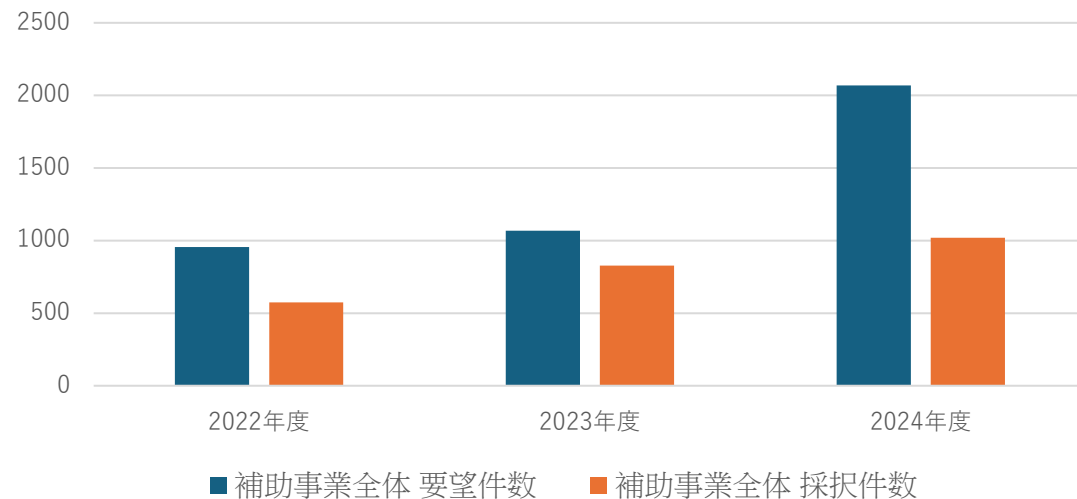
機械振興補助事業



公益事業振興補助事業



補助事業全体



[要望・採択件数増加の主な要因]

・機械振興補助事業は、募集期間の拡大等により、「福祉機器の整備」の要望件数が163件から884件、採択件数が143件から251件に大きく増加した。

・公益事業振興は、募集期間の拡大とメニューの追加により、「医療・公衆衛生」の要望件数が25件から106件、採択件数が20件から55件に大きく増加した。

6. 自己評価・事務局評価結果（機械）

自己評価・事務局評価結果（総合評価点）

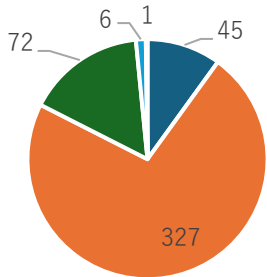
注：1つの補助事業を複数に分けて評価しているケースがあるため、自己評価結果の合計数と事業実施件数は一致しない。

機械振興補助事業		自己評価 総合評価点						事務局評価 総合評価点					
事業区分	対象事業	合計	5	4	3	2	1	合計	5	4	3	2	1
振興事業補助	自転車競技に関する機材の開発・改良・調査・研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車・モーターサイクル（社会づくり、安全・安心）	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	自転車・モーターサイクル（IoT化の促進）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障がい者スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	安全・安心、生活の質の向上	4	0	3	1	0	0	4	0	4	0	0	0
	防災・減災に資する取組み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉機器の振興	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉機器の整備	246	22	174	47	2	1	246	6	185	54	1	0
	国際競争力強化に資する標準化の推進	7	4	3	0	0	0	7	3	4	0	0	0
	ものづくり支援	7	0	7	0	0	0	7	2	5	0	0	0
	地域の機械産業の振興	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	省エネルギー等の環境	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0
	医療機器の振興	4	1	3	0	0	0	4	1	1	2	0	0
	2025年日本国際博覧会	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
公設工業試験研究所等	機械設備拡充	69	6	61	2	0	0	69	17	48	4	0	0
	人材育成等	2	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	0
	共同研究	8	1	6	1	0	0	8	2	4	2	0	0
	計	352	35	262	52	2	1	352	34	254	63	1	0
研究補助（複数年事業を除く）	個別研究	59	7	38	13	1	0	59	4	26	21	8	0
	若手研究	20	3	11	5	1	0	20	2	9	7	2	0
	開発研究	13	0	11	1	1	0	13	1	7	3	1	1
	ステップアップ研究	7	0	5	1	1	0	7	0	3	3	1	0
	計	99	10	65	20	4	0	99	7	45	34	12	1
		100.0%	10.1%	65.7%	20.2%	4.0%	0.0%	100.0%	7.1%	45.5%	34.3%	12.1%	1.0%
機械振興補助事業 合計		451	45	327	72	6	1	451	41	299	97	13	1
		100.0%	10.0%	72.5%	16.0%	1.3%	0.2%	100.0%	9.1%	66.3%	21.5%	2.9%	0.2%

2025/9/30現在

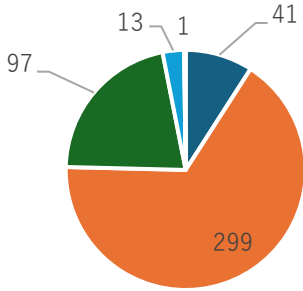
- 5 極めて高いレベル
- 4 比較的高いレベル
- 3 ほぼ問題のないレベル
- 2 不十分なレベル
- 1 極めて不十分なレベル

自己評価



■ 評価5 ■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1

事務局評価



■ 評価5 ■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2 ■ 評価1

6. 自己評価・事務局評価結果(公益)

自己評価・事務局評価結果（総合評価点）

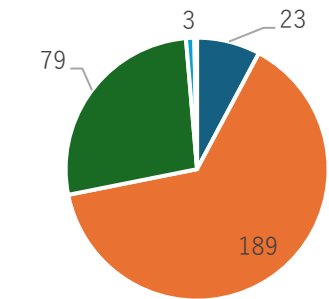
注：1つの補助事業を複数に分けて評価しているケースがあるため、自己評価結果の合計数と事業実施件数は一致しない。

公益事業振興補助事業		自己評価 総合評価点						事務局評価 総合評価点					
事業区分	対象事業	合計	5	4	3	2	1	合計	5	4	3	2	1
公益の増進	自転車(競技力向上等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車・モーターサイクル	24	3	18	3	0	0	24	4	18	2	0	0
	スポーツ・パラスポーツ	15	6	8	1	0	0	15	3	11	1	0	0
	社会環境	8	0	8	0	0	0	8	0	7	1	0	0
	国際交流	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0
	医療・公衆衛生	42	2	31	8	1	0	42	0	25	16	1	0
	文教・社会環境	9	0	8	1	0	0	9	2	7	0	0	0
	新世紀未来創造プロジェクト	10	1	8	1	0		10	1	9	0	0	0
	計	110	12	83	14	1	0	110	10	79	20	1	0
		100.0%	10.9%	75.5%	12.7%	0.9%	0.0%	100.0%	9.1%	71.8%	18.2%	0.9%	0.0%
社会福祉の増進	児童	4	1	2	1	0	0	4	0	4	0	0	0
	高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障がい者	12	2	6	4	0	0	12	1	11	0	0	0
	地域共生型社会支援事業	3	0	2	1	0	0	3	0	2	1	0	
	幸せに暮らせる社会を創るための活動や車両・機器等の整備	156	8	88	58	2	0	156	4	95	53	4	0
	計	175	11	98	64	2	0	175	5	112	54	4	0
		100.0%	6.3%	56.0%	36.6%	1.1%	0.0%	100.0%	2.9%	64.0%	30.9%	2.3%	0.0%
復興支援		2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0
研究補助		4	0	4	0	0	0	4	0	2	2	0	0
緊急的な対応を必要とする事業への支援		3	0	2	1	0	0	3	0	2	1	0	0
公益事業振興補助事業 合計		294	23	189	79	3	0	294	15	197	77	5	0
		100.0%	7.8%	64.3%	26.9%	1.0%	0.0%	100.0%	5.1%	67.0%	26.2%	1.7%	0.0%

2025/9/30現在

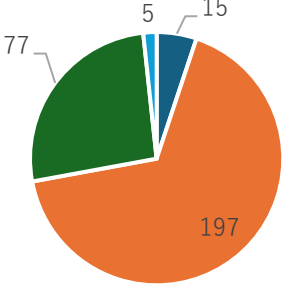
- 5 極めて高いレベル
- 4 比較的高いレベル
- 3 ほぼ問題のないレベル
- 2 不十分なレベル
- 1 極めて不十分なレベル

自己評価



■ 評価5 ■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2

事務局評価



■ 評価5 ■ 評価4 ■ 評価3 ■ 評価2

7. 自己評価と事務局評価と相違がある事業について

○自己評価と事務局評価で相違がある事業

2024年度 機械150件/全体451件(33.2%)、公益121件/全体294件(41.1%)

事務局は、主な要因を2023年度と同様で事業者がスコアリングガイドに則って各項目を採点せず総合評価点をつけていると推測する。

(例1)福祉車両の整備 2024P-385 (福)筑前伊都の会

【自己評価3 事務局評価4】

計画通りに事業は実施されており、予定どおりの成果があげられていたため総合評価点を4に修正した。

(例2)国内スポーツ競技力向上のための事業 2024P-048 (公財)日本オリンピック委員会

【自己評価3 事務局評価5】

情報発信において、補助事業者HPの閲覧数が167%と高く、大幅な目標達成となった。

(例3)福祉機器の整備 2024M-119 (福)はつらつの里

【自己評価4 事務局評価3】

広報誌への掲載が未実施のため、情報発信の採点を1とした。そのため総合評価点を3とした。

8. まとめ

○補助事業部の取り組み

- ・事務局は、補助事業者に対して「2024年度の自己評価時にスコアリングガイドを確認し自己評価をすること」をメールで周知した。
 - ・しかしながら、前述のとおり自己評価と事務局評価に相違があったことから、2025年度評価事務手続要領のページ順序等を変更した。具体的には補助事業者が自己評価を記入するときに確認するページ(記入例)の前のページにスコアリングガイドを掲載し、基準点をより分かりやすい表示にした。
- この変更により補助事業者が自己評価実施にスコアリングガイドを確認することで評価の基準が明確になり、適切に評価点をつけることができるよう促した。

2025年度 JKA補助事業「自己評価スコアリングガイド」

《計画どおり問題なく事業が実施でき、予定どおりの成果が上げられれば、評価点は「4」点となります。》

総合評価	5	全体として極めて高いレベルの事業であった。
	4	全体として比較的高いレベルの事業であった。
	3	一部に不十分な水準の内容があり、今後の課題となるが、全体としてはほぼ問題のないレベルの事業であった。
	2	全体として不十分なレベルの事業であり、いくつかの課題が残った。
	1	全体として極めて不十分なレベルの事業であり、根本的な見直しが必要である。
(1) 受益者 (ニーズ)	5	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、当該受益者のニーズに沿った適切な事業を実施することができた。また加えて、想定した受益者を超えて、補助事業の効果が大きな広がりを見せている。
	4	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、当該受益者のニーズに沿った適切な事業を実施することができた。
	3	受益対象者、ニーズの想定は適切であり、一部変更はあるものの当該受益者のニーズにほぼ沿った事業を実施することができた。
	2	受益対象者、ニーズの想定の一部に誤りがあり、計画変更が必要であった。または、受益対象者、ニーズの想定は適切であったものの、計画に問題があり当該受益者のニーズに対応するために、大幅な計画変更が必要であった。
	1	受益対象者、ニーズの想定に大きな誤りがあった。または、受益対象者、ニーズの想定に誤りがなかったものの、本事業の内容との齟齬が大きく、計画変更を行っても当該受益者のニーズに対応することができなかった。

[変更点]4点が基準点であることを強調

- ・基準の点数がわかりやすいように、文字の大きさを変更
- ・4点が基準のため、グレイバックにし、文字を太文字に変更